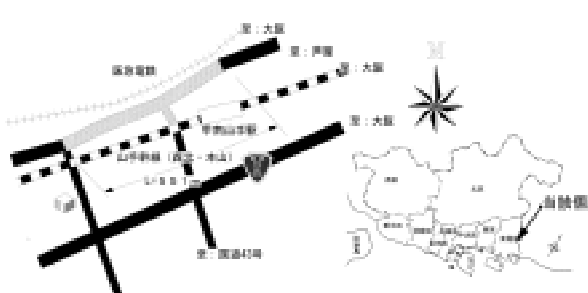


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名	やまてかんせん もとやま 山手幹線（本山）	事業区分	都市計画道路	事業主体	神戸市
起終点	起点：神戸市東灘区本山北町2丁目 終点：神戸市東灘区西岡本1丁目			延長	1.39km
事業概要	<p>既成市街地を東西に結ぶ幹線道路である山手幹線の一部であり、安全で円滑な交通の確保、緊急時の救急活動や物資輸送路のために事業を進めている。あわせて、JR摂津本山駅周辺では電線類地中化を行うことにより、良好な景観形成を図る。</p> <p style="text-align: center;">幅員W = 27m（往復4車線、標準歩道幅員4.5m）</p>				
H7年度事業化	S21年度都市計画決定 （H13年度変更）	H8年度用地着手	H7年度工事着手		
全体事業費	61億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0.7km
計画交通量	25000台/日				
費用便益分析結果	B/C （事業全体） 1.9	総費用 （事業全体） / 63.5億円 （事業費：/62.5億円 維持管理費：/0.9億円）	総便益 （事業全体） / 119.2億円 （走行時間短縮便益：/112.2億円 走行費用減少便益：/5.5億円 交通事故減少便益：/1.5億円）	基準年 平成16年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏の交通円滑化の推進（公共交通機関（バス）路線の利用促進） ・安全な生活環境の確保（歩道整備による安全で快適な空間の確保） ・道路の防災対策・危機管理の充実（県地域防災計画における広域防災帯への位置づけ） 				
関係する地方公共団体等の意見	<p>地元まちづくり協議会と意見交換しながら植栽計画、歩道インターロッキングブロックデザイン等を決定した。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>芦屋市側の整備が進捗してきていることから、神戸・阪神間の東西方向の幹線道路としての、早期整備の必要性が高まっている。また平成9～10年度にかけて、岡本商店街で道路の石畳舗装が行われるなど、商業活性化や良好な景観形成が図られている。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地買収率は74%に達している。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>既に0.7km区間は完成形で供用している。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>特になし</p>				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	<p>芦屋市側の整備が進捗してきていることから、神戸・阪神間の東西方向の幹線道路としての役割を果たすとともに、安全で円滑な自動車交通を確保するため、早期完成を目指して事業を継続する。</p>				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。